

542  
ヴィクトリーナ

船出は苦杯

543  
レポ

皇后杯各6人制選手権  
兵庫県ウインド

須磨区の須磨ノ浦高体育館で、初の公式戦となる皇后杯全日本6人制選手権兵庫県ウインドに出場した。1回戦で

パレポル女子の元日本代表セッター竹下佳氏が監督に就任し、姫路市を拠点に発足した新チーム「ウィクトリーナ姫路」が10日、神戸市「いさなぎテ

武庫川女大校に0-2、20-25、17-25で敗れ、ほろ苦さの残る船出となった。竹下監督は「正直、甘くない」と口にし、「いきなりト



竹下佳江監督(中央下)が見つめる中、初の公式戦でスパイクを放つウィクトリーナ姫路の筒井規穂子

初采配に竹下監督「甘くない」

ツプチームの監督をするのではなく、ここからスタートするのかもしれない。と初采配を振り返った。

チームは口々に動いたばかり。プロ契約の筒井規穂子主将、河合由貴、片下恭子はフランクを捨て現役復帰しており、コンディションは充分ではなかった。元元光製薬の選手で、ロンドン五輪界最終予選に出場した並井寛子も助っ人参戦したが、攻守とも関係不足が否めなかった。敗戦にも、セッター河合は「もっと勝ちたい」という気持ちが強くなった」と前向き。来年のチャレンジャリーグ2(3部相当)参加を目指し、来月6日にはトライアウトも予定しており、竹下監督は地元にもいい選手がいればとんどん入れた」と青写真を描いていた。(小川康介)